



県立山田病院建設候補地（3案中2案）



木村洋子議員

医療復旧

山田病院の候補地は

3つの候補地を県に推薦

質問 候補地のメリット・デメリットについて問う。

佐藤町長 3つの候補地のメリットは、どの候補地も県医療局から選定条件として示されている。「今回規模の津波でも浸水しない地域で、10000㎡の敷地面積」をクリアしていることと、交通アクセスもよく、将来の町づくりの中に病院が位置付けられることである。

デメリットは隣接施設に配慮しなければならないことと、用地造成などに時間を要することである。町として3つの候補地を推薦したが、最終的な決定は県医療局が行う。

質問 候補地は、山田中学校か山田高校付近の山を崩した高台ということだが、私は八幡町の旧山田病院跡地利用が一番早く最適と考える。敷地はコンパクトになるが、高齢者も利用しやすく町づくりの中心にな

る。これまで候補に入れてほしいと述べてきたのだが、入っていないかったためがくせんとした。これから山を崩し、広大な敷地を造成してからというのでは、一日も早く病院再建を願う町民の気持ちと合致しないのではないか。

鈴木健康福祉課長 防災町づくり拠点事業を取り入れることにより、この3案は、スピードの点では早く実現できる可能性がある。

質問 30年ほど前、私が新卒の看護師として旧山田病院に勤務していたとき、病院の3階の窓から患者さんと山田のお祭りをみて感激した思い出がある。ベッドに寝ていてもお祭りの音が聞こえる、そんな場所に病院が建ってほしいという思いがある。

県が建てるのだが、利用するのは山田町民である。町民の納得のいく場所に建

てるべきと考える。県医療局が町民に対し説明会を開くと聞くが、いづ

鈴木健康福祉課長 1月に予定されており、県の決定について報告するようである。

水産行政

被災した県営漁港の整備は

県に対して今後とも要望していく

質問 被災した漁港は、大きなプロジェクトと並行して、「漁業者が最低限困らない整備」が必要と考える。県営漁港の場合、町として手を出せないということだが、大浦漁港は被災し外灯がないため、浜辺の作業

に支障を来している。防災の意味でも、外灯の必要性を県に強く要望するとともに、町としても船揚げ場に外灯設置を行うべきでは。

佐藤町長 県営漁港に外灯を設置する考えはないが、県に要望していく。

そのほかの質問

- ◆子宮頸がんワクチンについて
- ◆大浦の防潮堤について
- ◆豊間根（島田地区）住宅密集地における生活排水処理について